

※無断引用・転載を禁じます。

新潟県立大学公開講座

# 「一帯一路」2.0と日中経済関係

— 協力・競争形態の変容 —

2026年3月26日

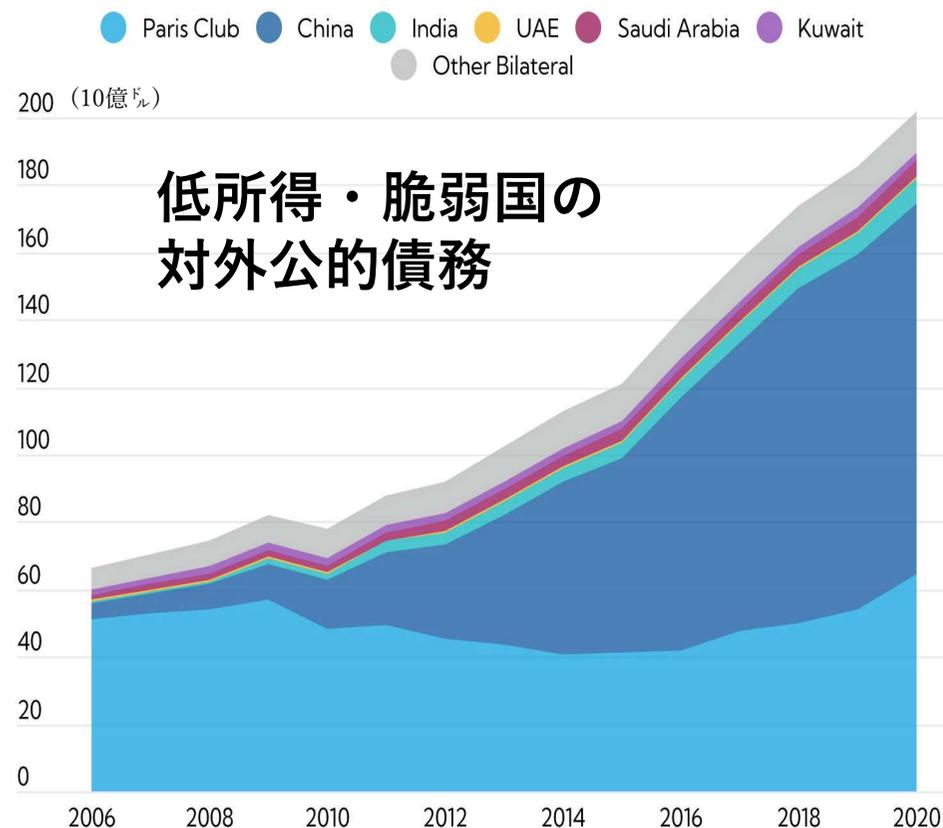
大橋英夫  
(専修大学)

# 報告内容

- 質の高い「一帯一路」構想(2.0)における中国の対外経済関係の変化
- 日中経済関係における相互補完性
- 日中協力・競争の第三国市場への移行
- 日本産業・企業の挑戦

# 「一帯一路」構想と「債務の罠」批判

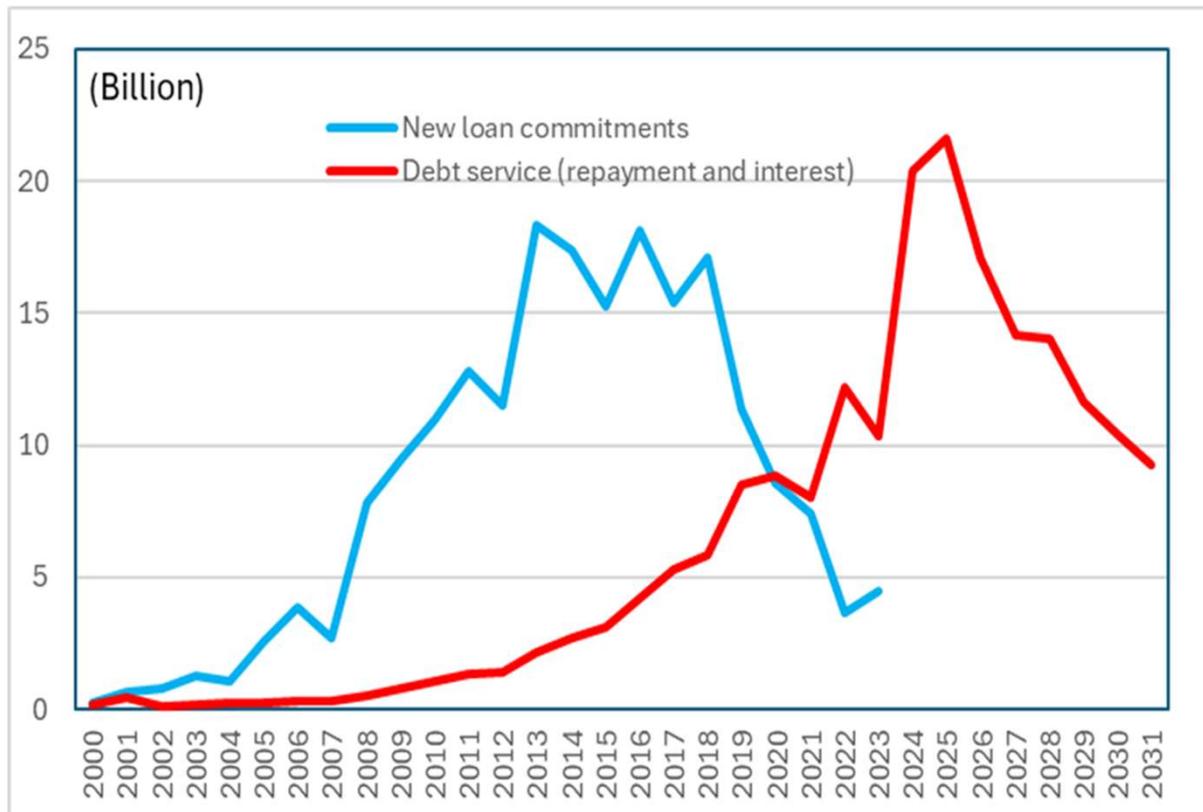
- 「一帯一路」構想の提起 (2013~)
  - 公的資金による大規模インフラ投資
- 「債務の罠」批判
  - 中国による過剰融資の提供
  - 途上国の債務返済困難
    - ⇒ 返済繰り延べや新規融資供与
    - ⇒ 実物資産(資源開発権益や港湾運営権)の獲得
    - ⇒ 途上国への影響力拡大
- 質の高い「一帯一路」の提起
  - 第2回「一帯一路」国際サミットフォーラム (2019年4月)
  - 多国間協議枠組み(G20・パリクラブの債務支払猶予イニシアティブ(DSSI)に初参加



資料：Kristalina Georgieva and Ceyla Pazarbasioglu, "The G20 Common Framework for Debt Treatments Must Be Stepped Up," IMF Blog, December 2, 2021.

# 質の高い「一帯一路」2.0への転換

## 中国の低所得・脆弱国への融資状況



資料: Riley Duke (2025), "Peak repayment: China's global lending" <<https://lowy-institute.github.io/publications/2025/DUKE-peak-repayment-china-global-lending.pdf>>, May.

### ➤ 「一帯一路」2.0 (2019~)

- 近隣諸国(ASEAN等)に対する市場経済ベースによる民間企業中心の対外投資: 「走出去」⇒「出海」

### ➤ 「人類運命共同体」

- グローバル発展イニシアチブ (GDI: 2021年9月)
- グローバル安全保障イニシアチブ (GSI: 2022年4月)
- グローバル文明イニシアチブ (GCI: 2023年3月)
- グローバル・ガバナンス・イニシアチブ (GGI: 2025年9月)

# 第三国市場協力：期待と限界

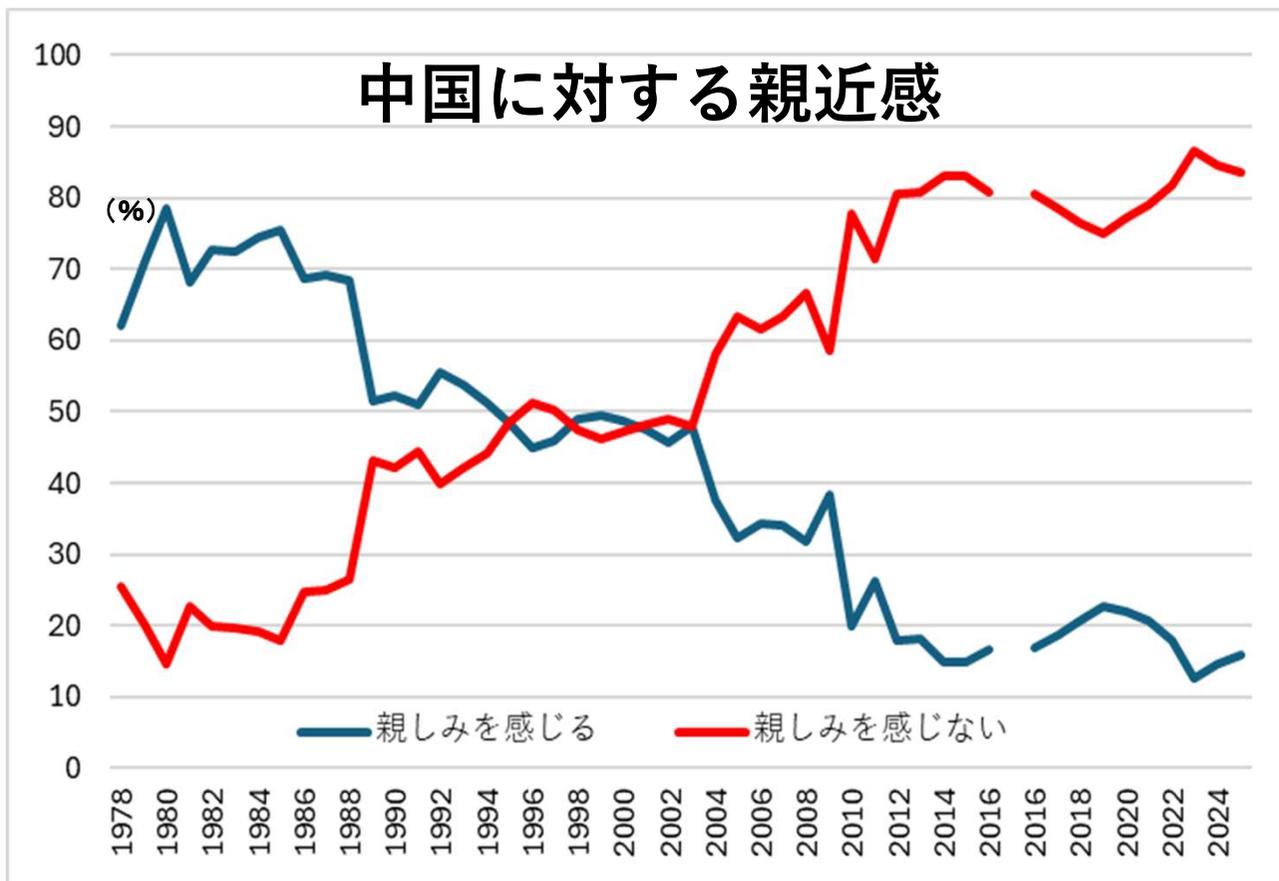
## ➤ 第1回日中第三国市場協力フォーラム（2018年10月）

- インフラ、物流、IT、ヘルスケア、金融分野など、日中企業や政府関係機関、経済団体などにより協力覚書52件締結
- 東南アジアに拠点を置く日中企業間の部品・中間財の供給・調達
- 両国政府・企業が建設した工業団地への両国企業の進出
- 「中欧班列」への関心→ロシア・ウクライナ紛争の影響

## ➤ 「第三国市場協力」の限界

- 「第三国市場協力」の根底にある基本概念の相違
  - 中国＝「一帯一路」（BRI）構想
  - 日本＝「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）構想
- 地政学的リスクの顕在化→米中関係の分断
- 競合する日本企業と中国企業間の連携の難しさ

# 日本人の中国観の変遷



資料:内閣府「外交に関する世論調査」。

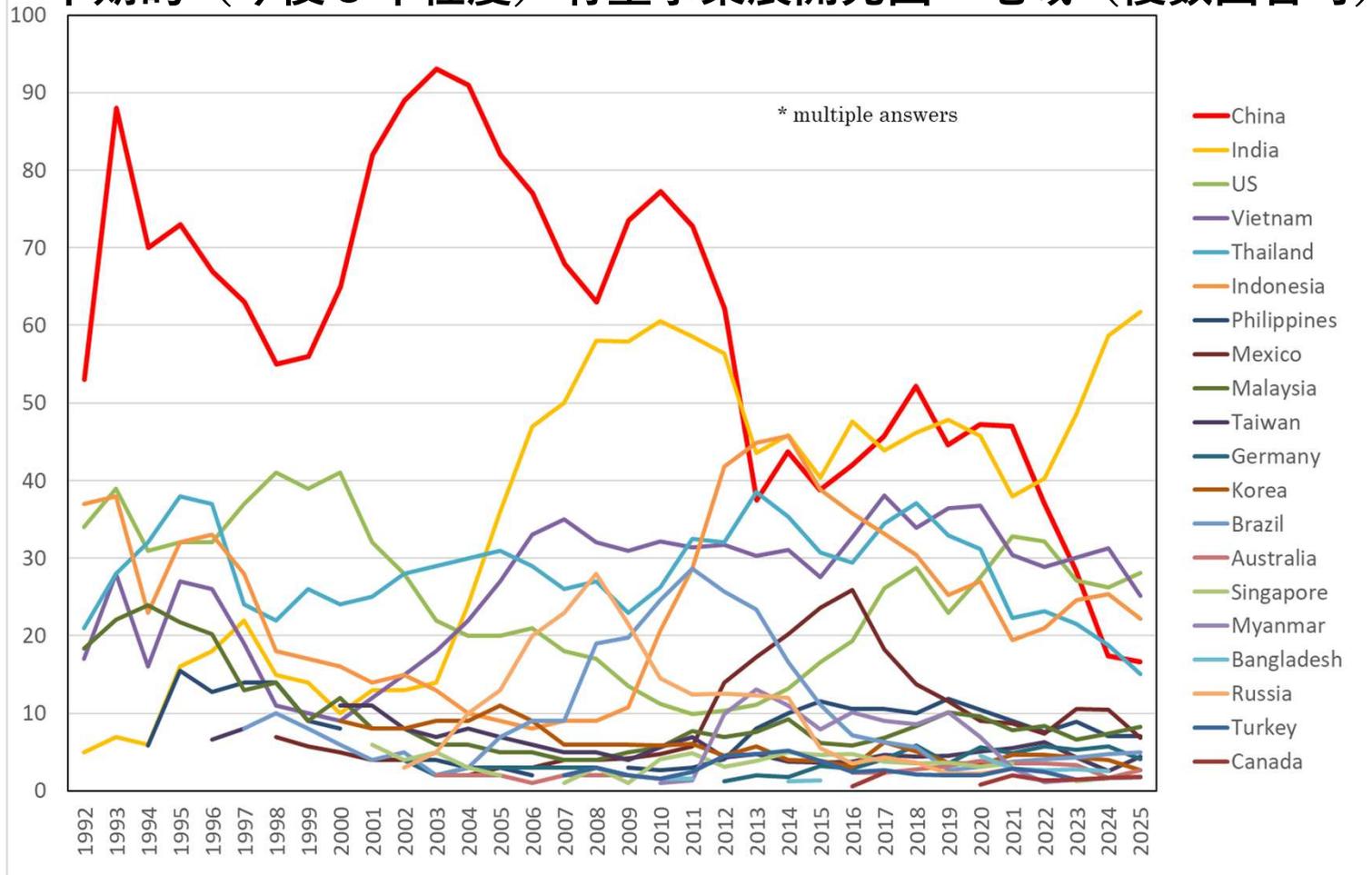
- 天安門事件 (1989)
- 反日デモ(2005)
- 尖閣諸島問題 (2010~)
- 軍事・政治体制への不信

日本への関心

- コンテンツ  
(アニメ、キャラクター)
- 訪日観光客
- 日本留学

# 日本企業の「中国離れ」の進行

中期的（今後3年程度）有望事業展開先国・地域（複数回答可）

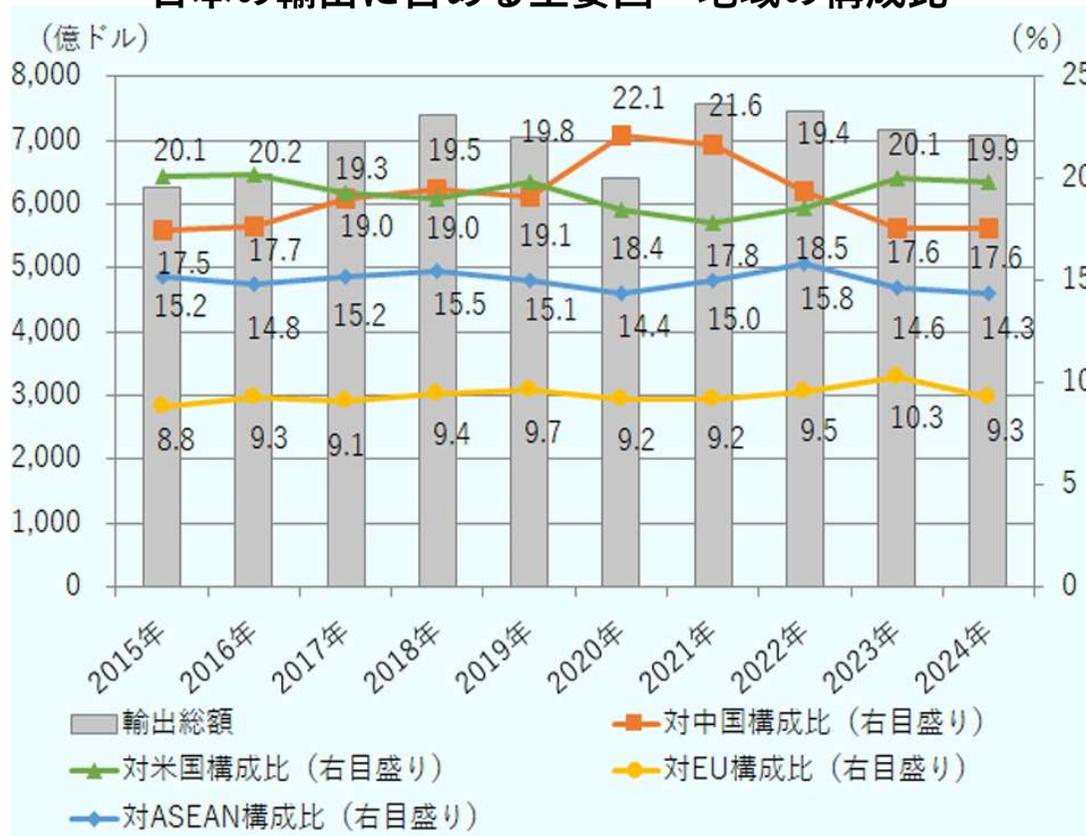


- 1997年・2008年
  - アジア・国際金融危機
- 2010年代
  - 中国の生産コスト高騰
- 2020年代
  - 米中関係の悪化
  - 中国のゼロコロナ政策
  - 経常利益の低減  
(ただし、巨大市場)
  - 「自立自強」政策の展開

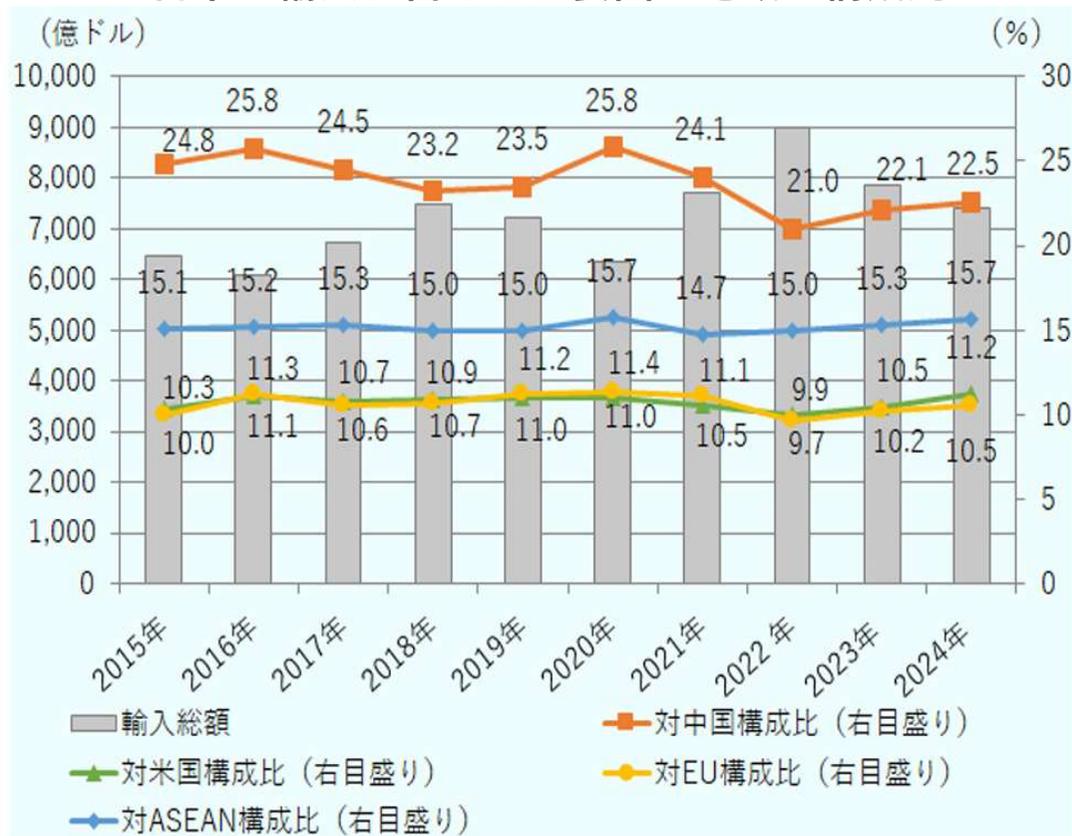
資料：国際協力銀行「2025年度海外直接投資アンケート調査結果」2025年12月。

# 日本の対外貿易に占める中国の重要性

## 日本の輸出に占める主要国・地域の構成比



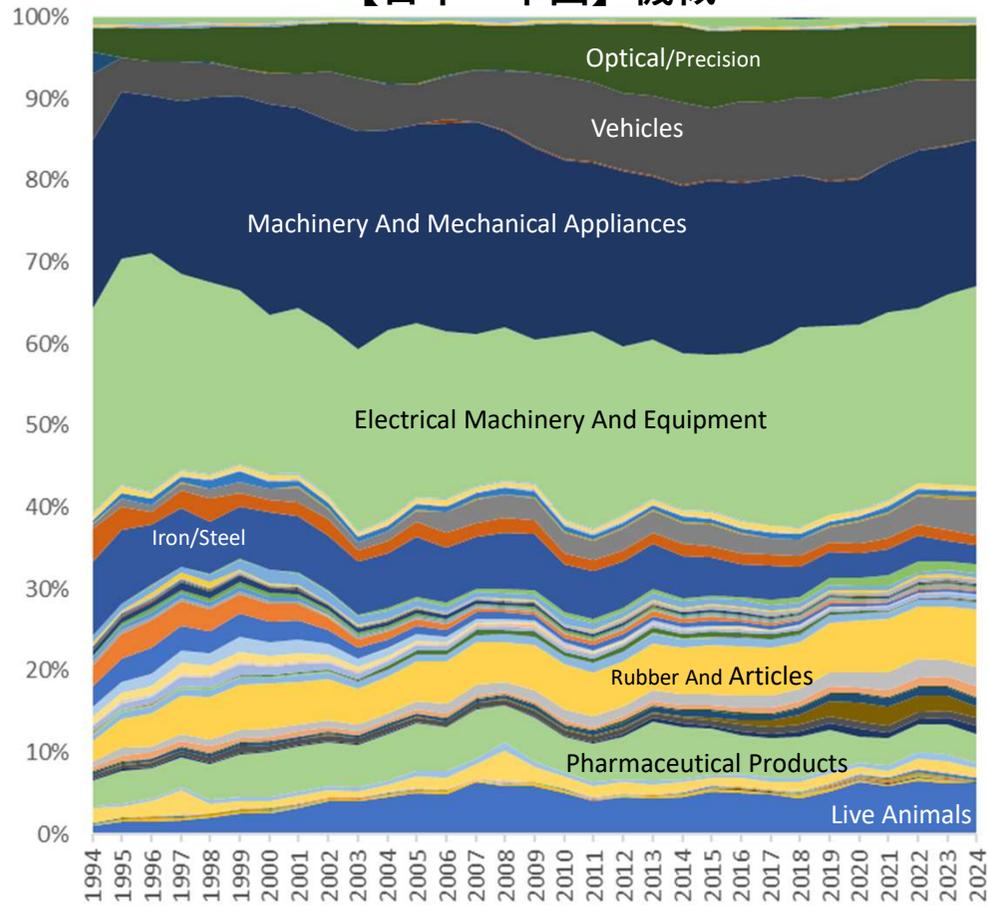
## 日本の輸入に占める主要国・地域の構成比



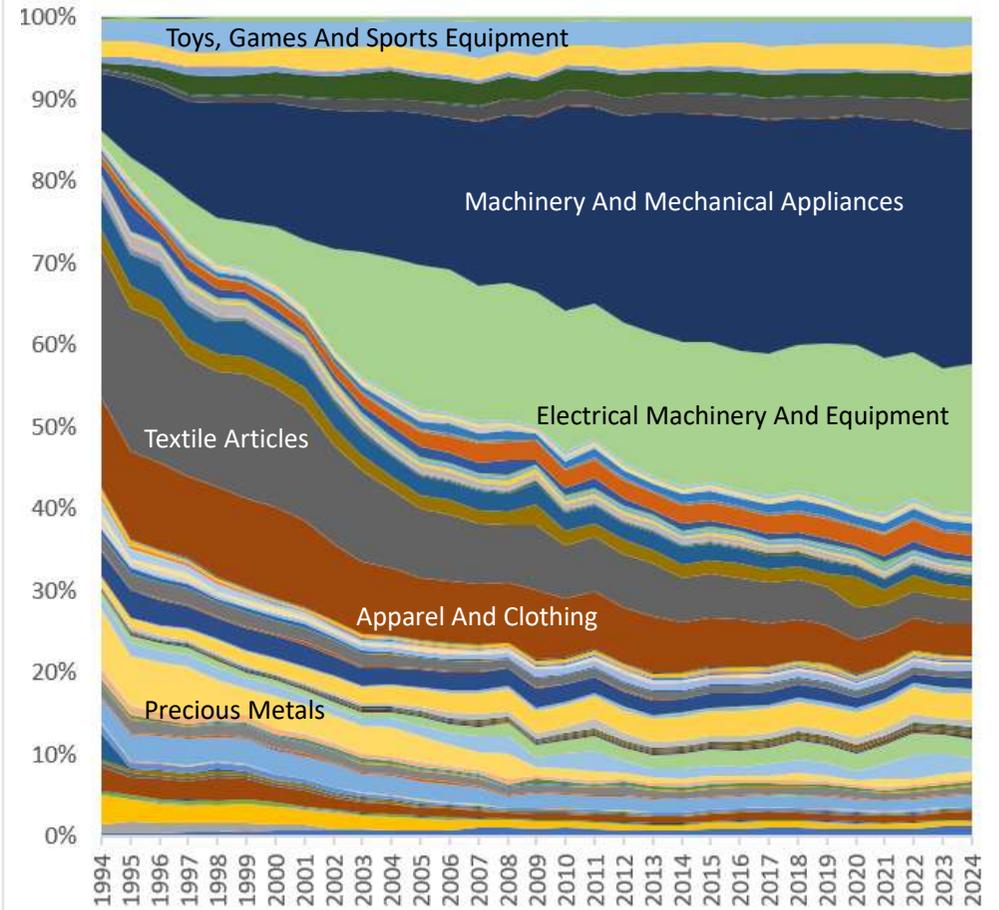
資料：ジェトロ「日本の対中輸入、2年連続で減少」2025年7月2日。

# 日中貿易の商品構成(HS 2桁)

【日本→中国】機械



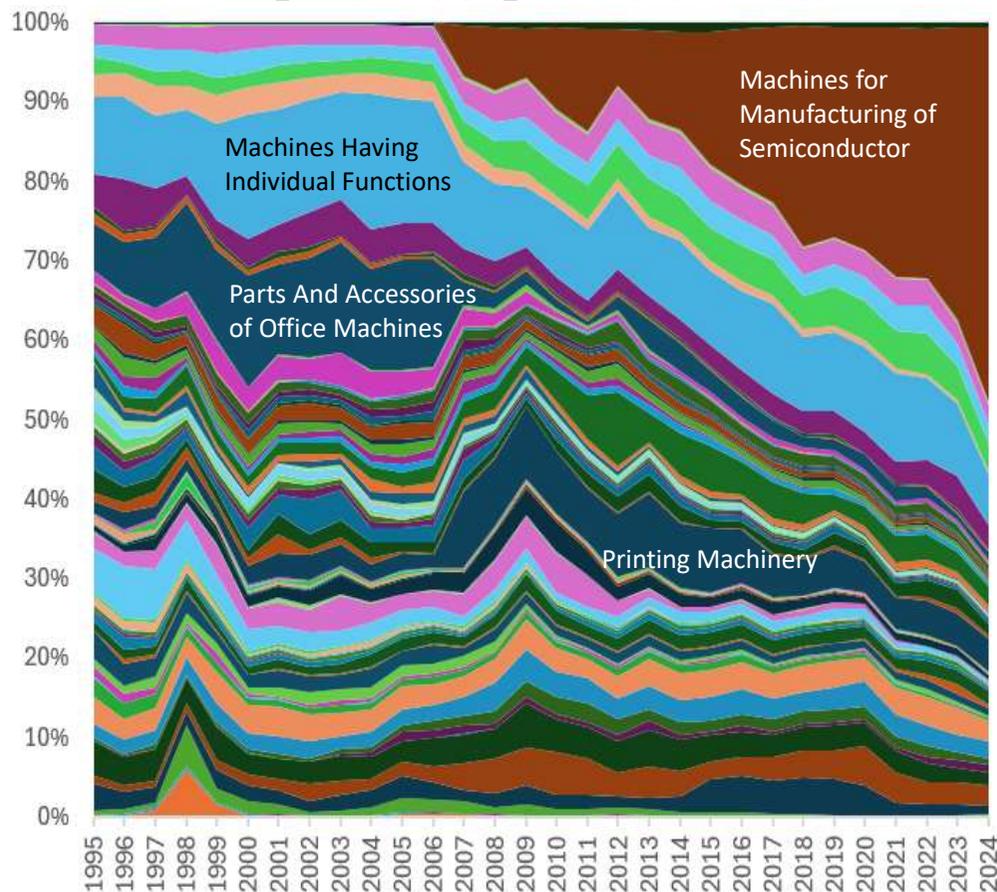
【中国→日本】繊維から機械へ



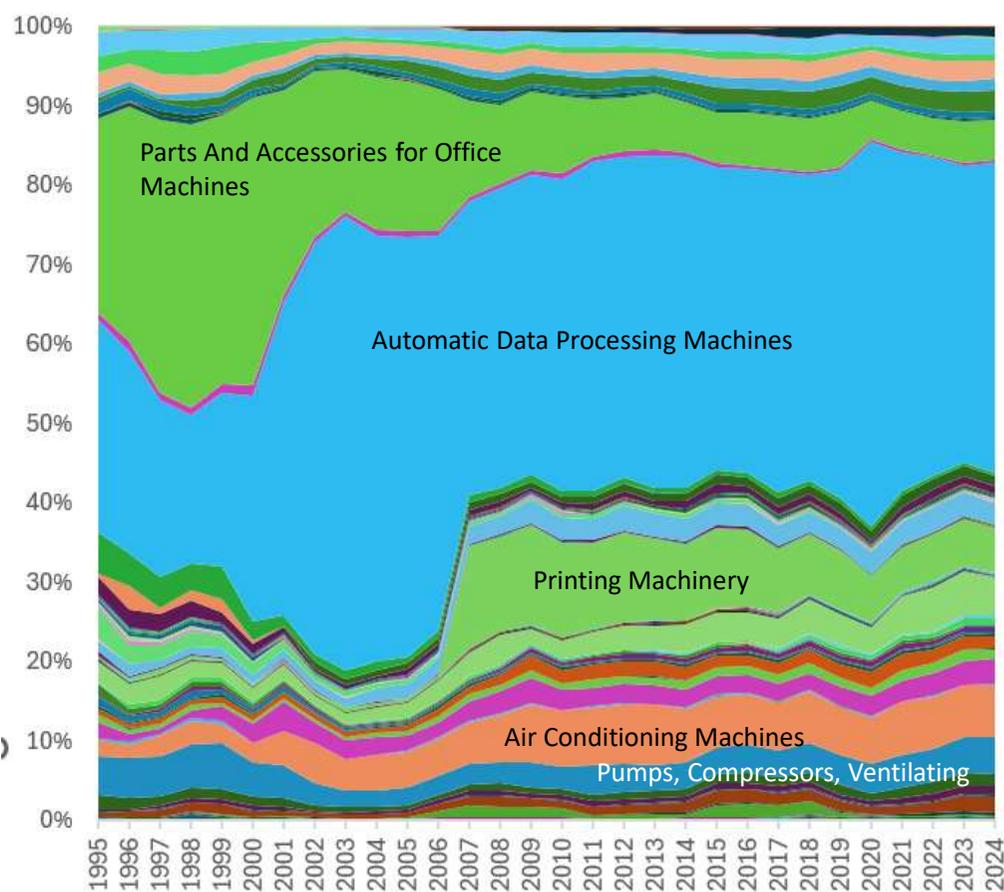
資料：World Trade Atlas.

# 日中機械貿易の商品構成(HS 84)

【日本→中国】 製造設備・部品



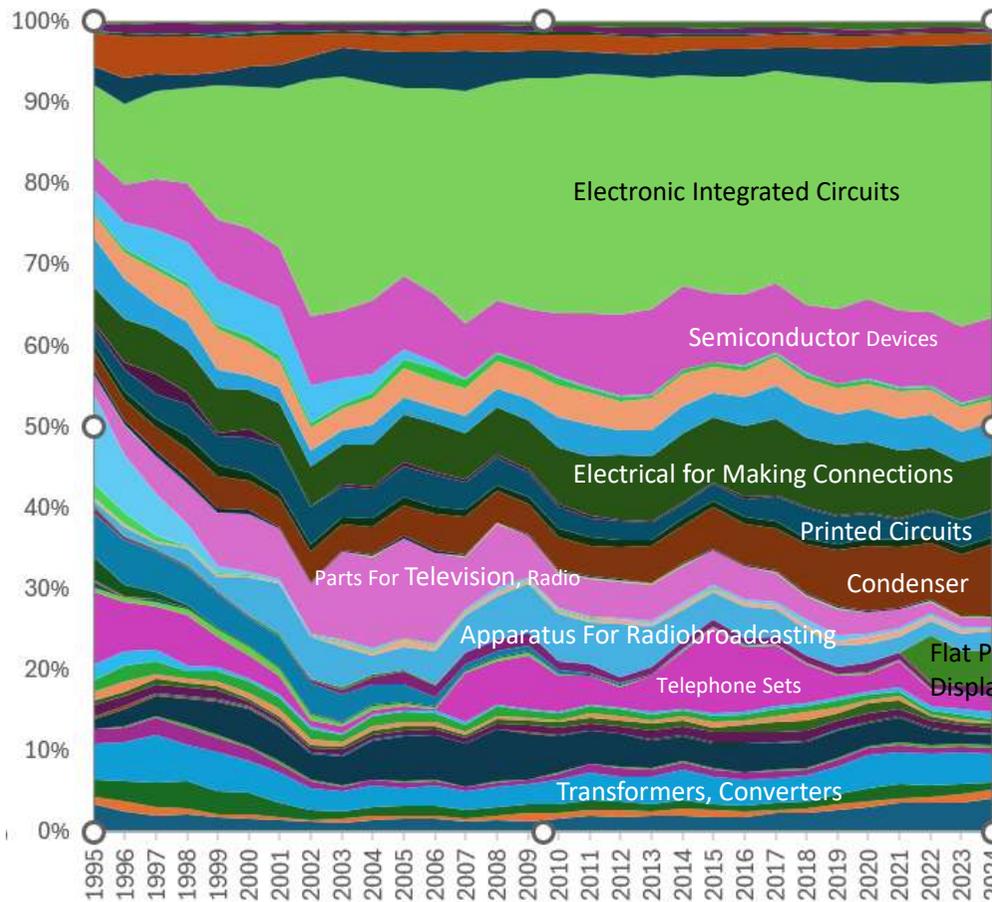
【中国→日本】 PC・オフィス機器



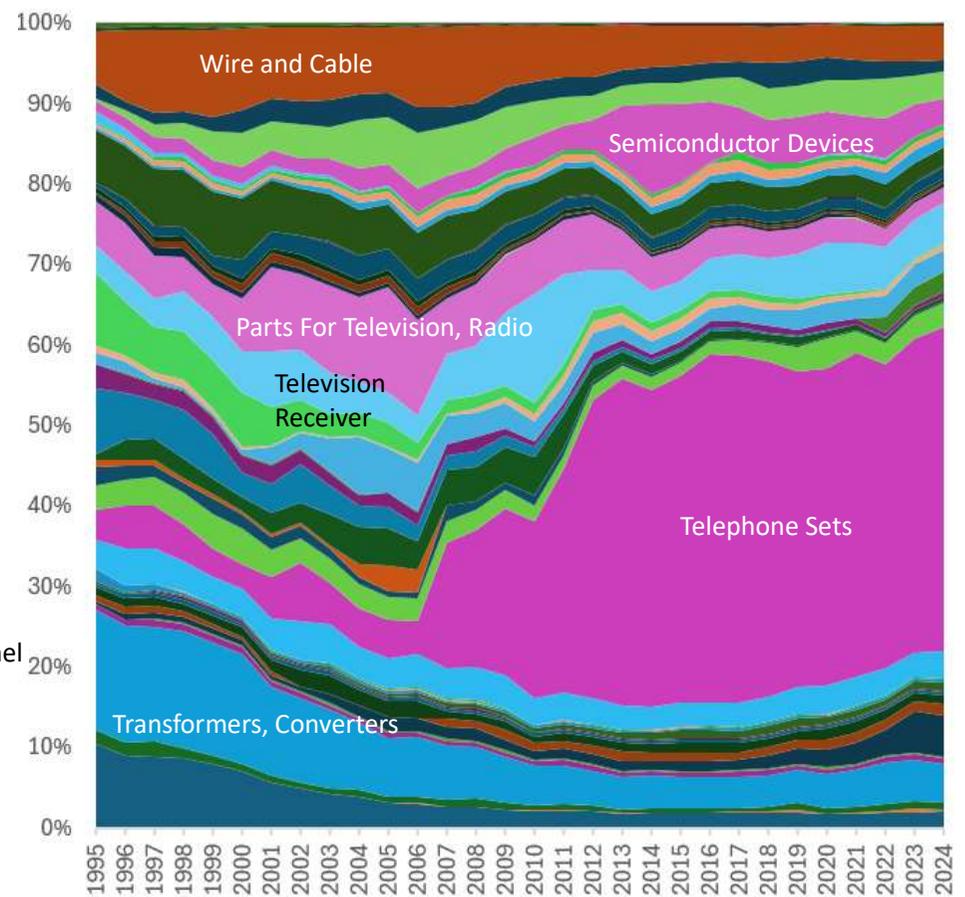
資料：World Trade Atlas.

# 日中電気機械貿易の商品構成(HS 85)

【日本→中国】電子部品



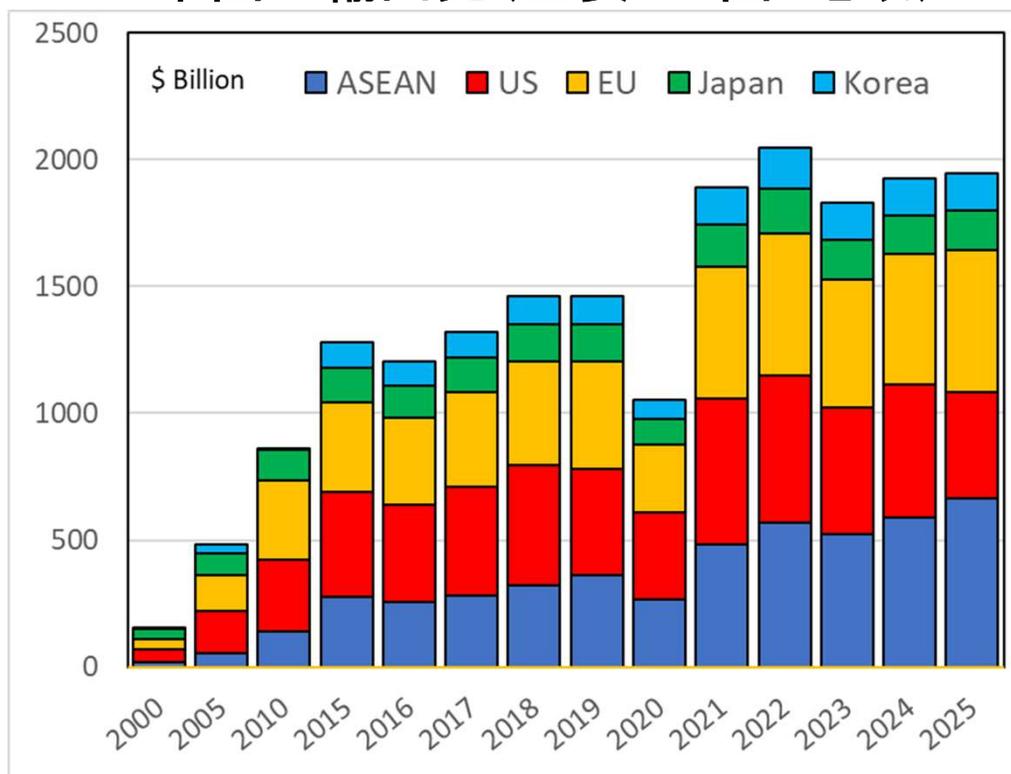
【中国→日本】スマートフォン、AV機器



資料：World Trade Atlas.

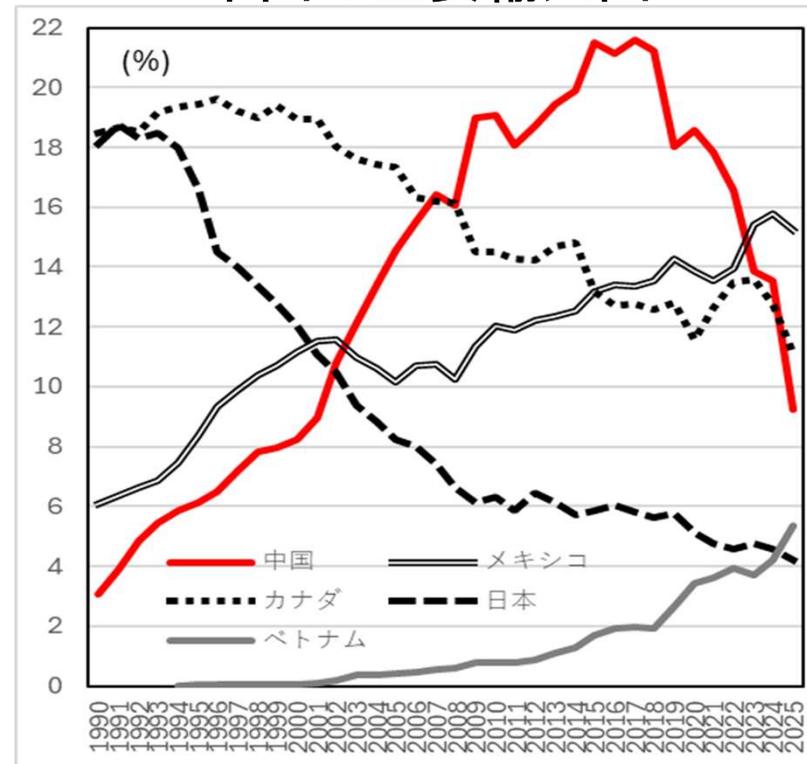
# 中国の対ASEAN輸出の拡大・対米輸出の縮小

## 中国の輸出先(主要5カ国・地域)



資料: China Customs Statistics.

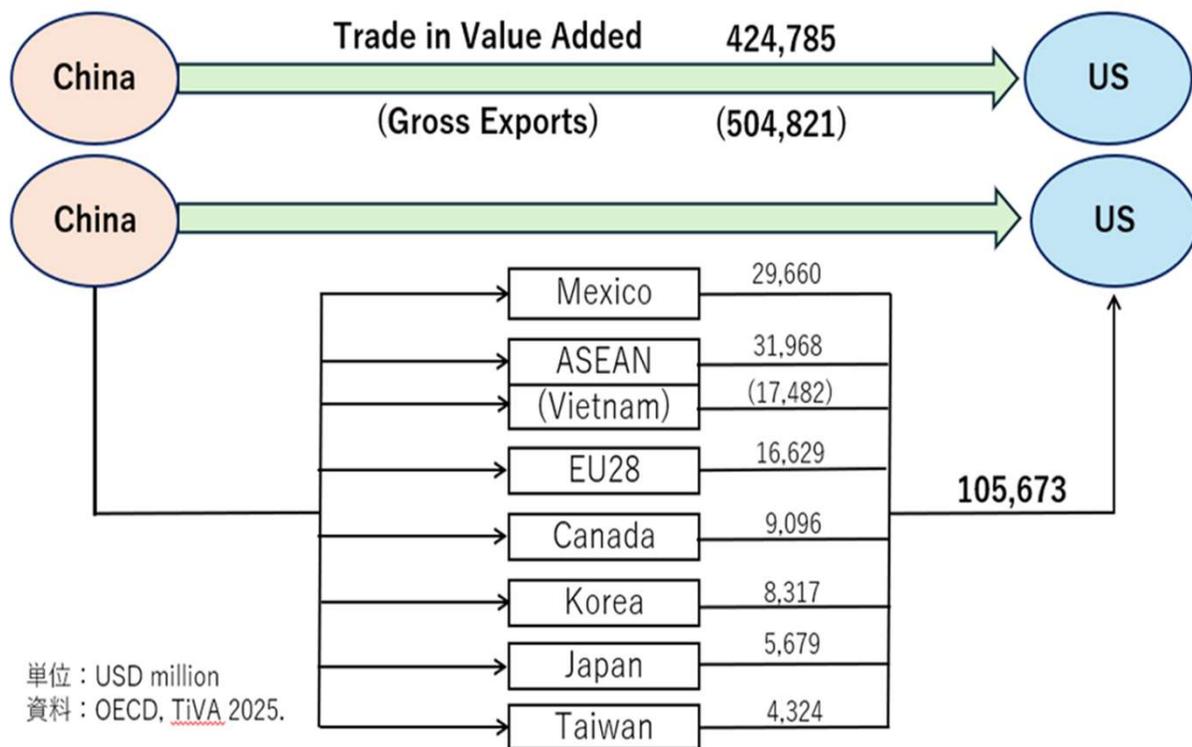
## 米国の主要輸入国



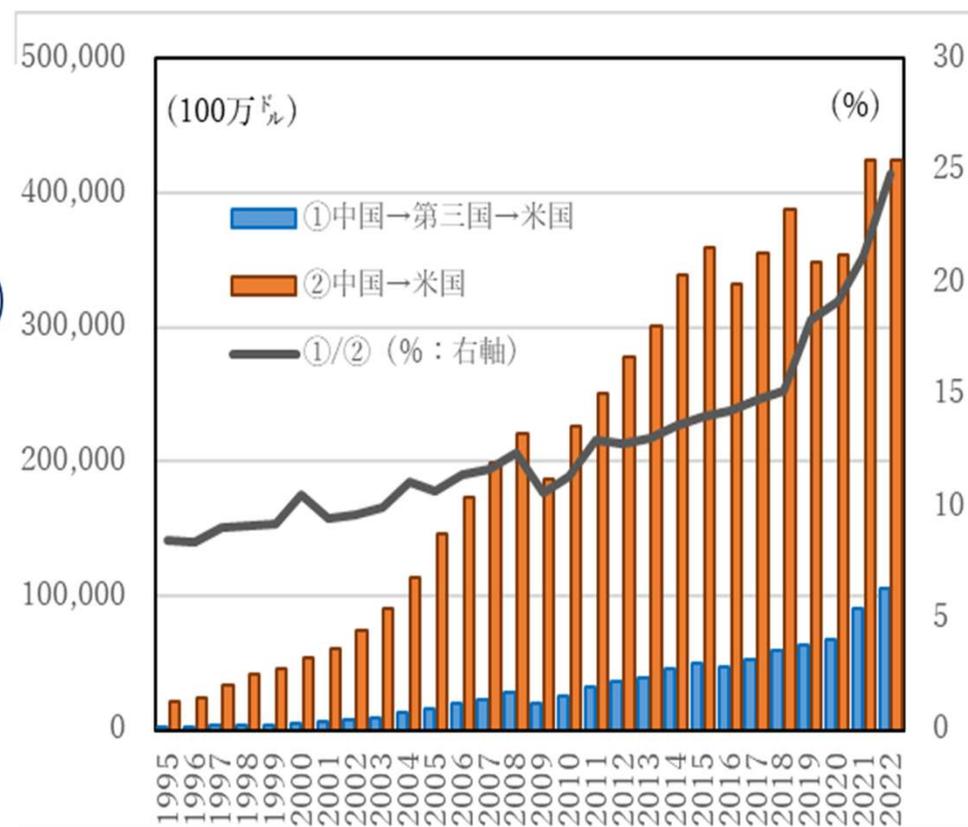
資料: U.S. Trade in Goods by Country, U.S. Census Bureau.

# 付加価値貿易でみる中国の対米輸出

## 中国の第三国経由の対米輸出 付加価値ベース(2022年)



## 中国の対米直接・間接輸出の比率

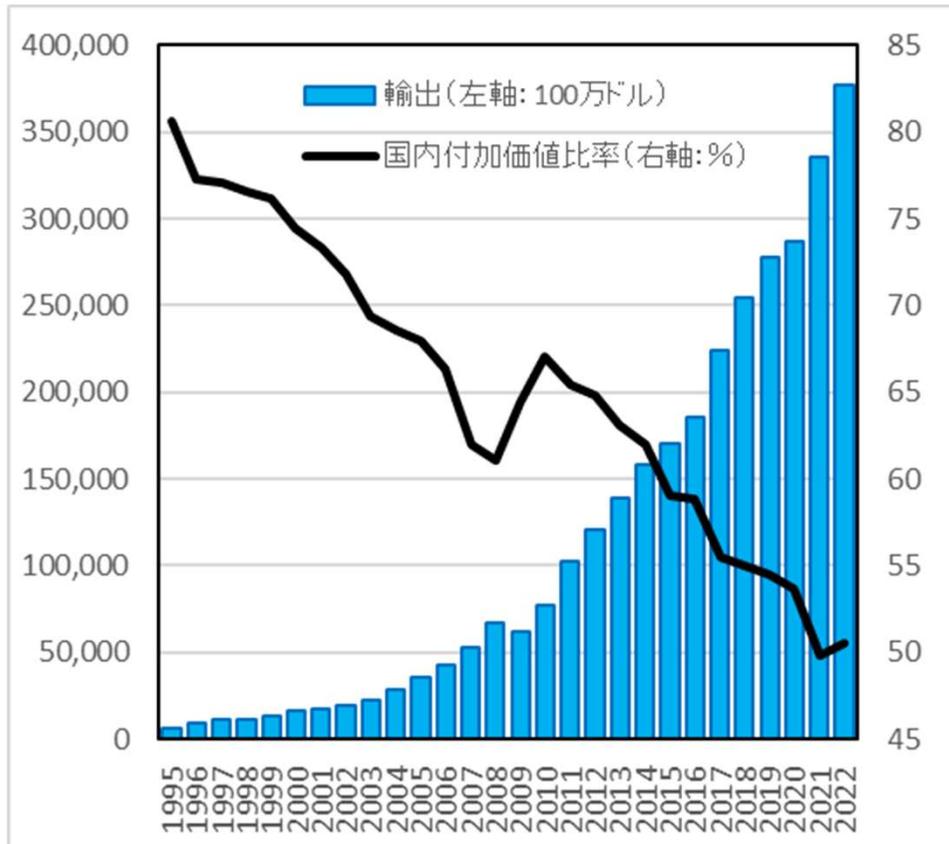


# 中国の第三国経由の対米輸出の増加

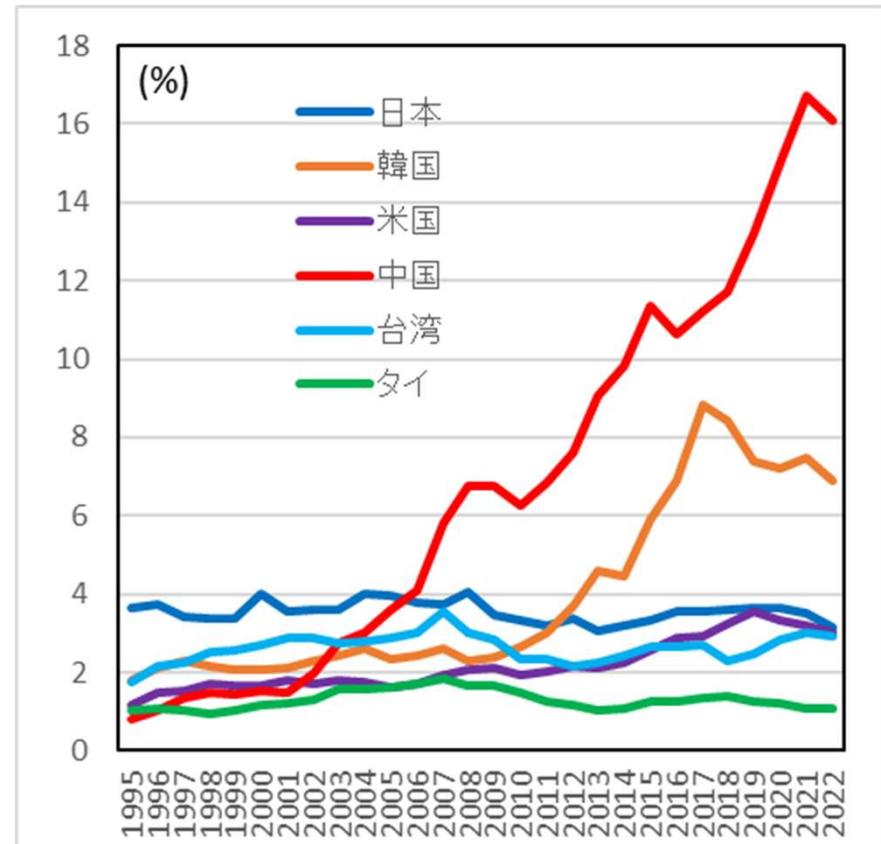
- **米国の関税・規制を回避するための輸出ルートの変更**
  - × 積み替え・瀬取り
  - × 原産国の偽装包装・ラベルの変更
  - △ 半製品の簡単な組み立て
  - △ 倉庫での一時保管
  - 加工貿易
  - 外国直接投資（FDI）
  
- **コネクター経済（connector economies\*）の躍進**  
Vietnam, Mexico, Morocco, Poland and Indonesia (Bloomberg, November 2, 2023).

# ベトナムの輸出と国内・外国付加価値の推移

ベトナムの輸出と国内付加価値



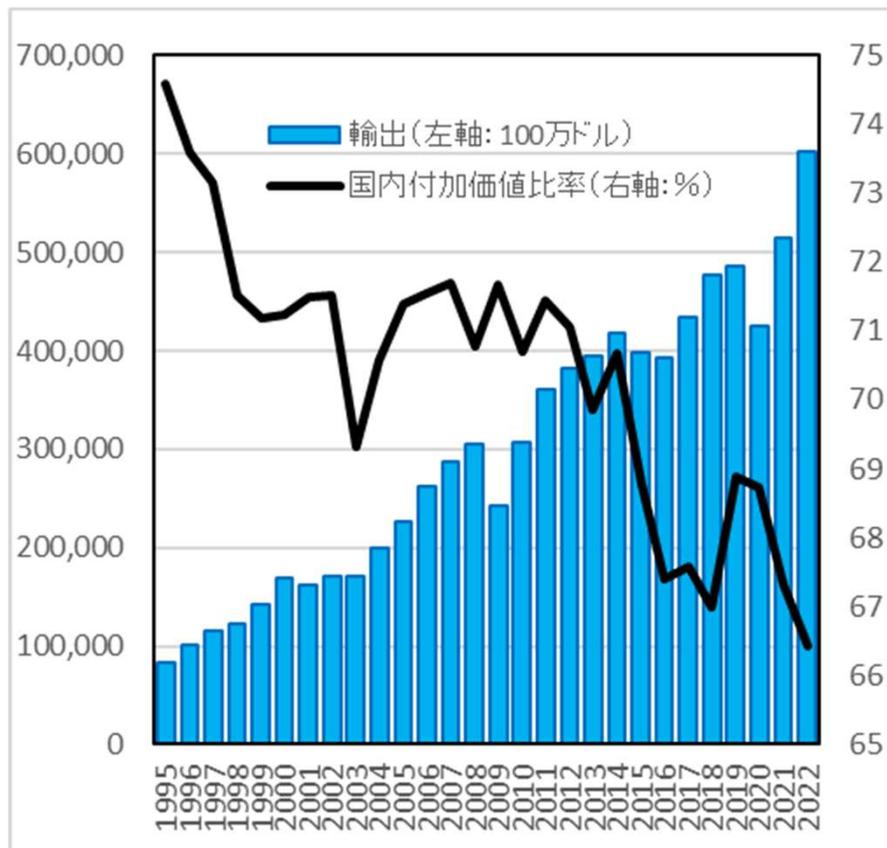
ベトナムの輸出に占める外国付加価値の比率



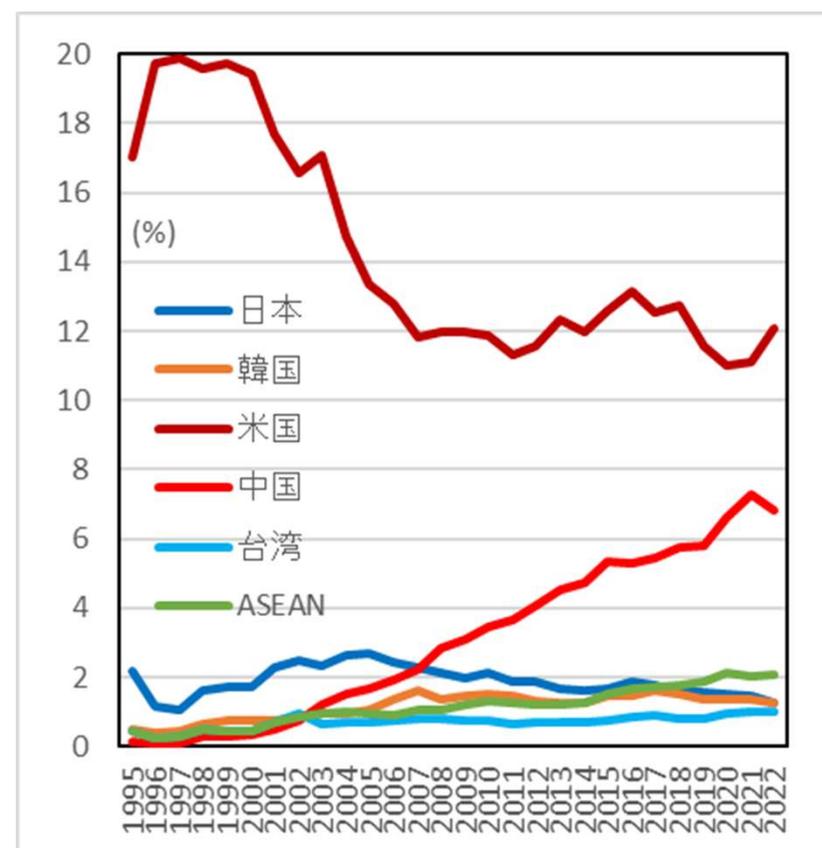
資料: OECD, TiVA 2025.

# メキシコの輸出と国内・外国付加価値の推移

メキシコの輸出と国内付加価値



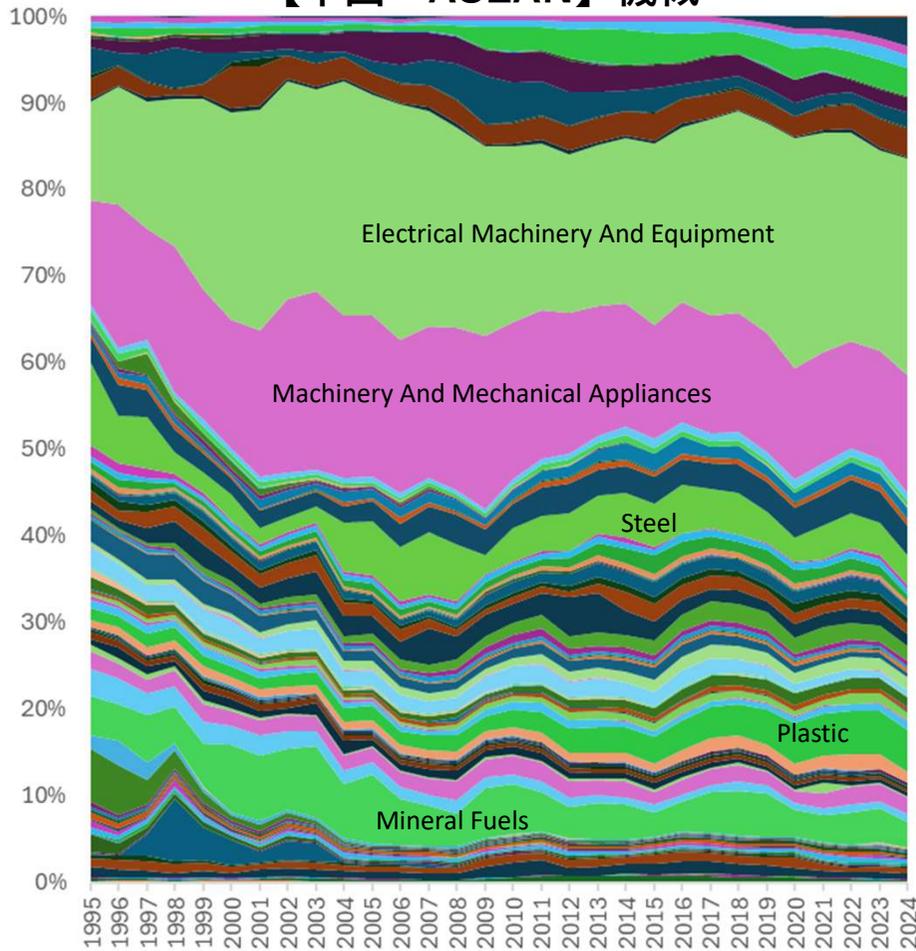
メキシコの輸出に占める外国付加価値の比率



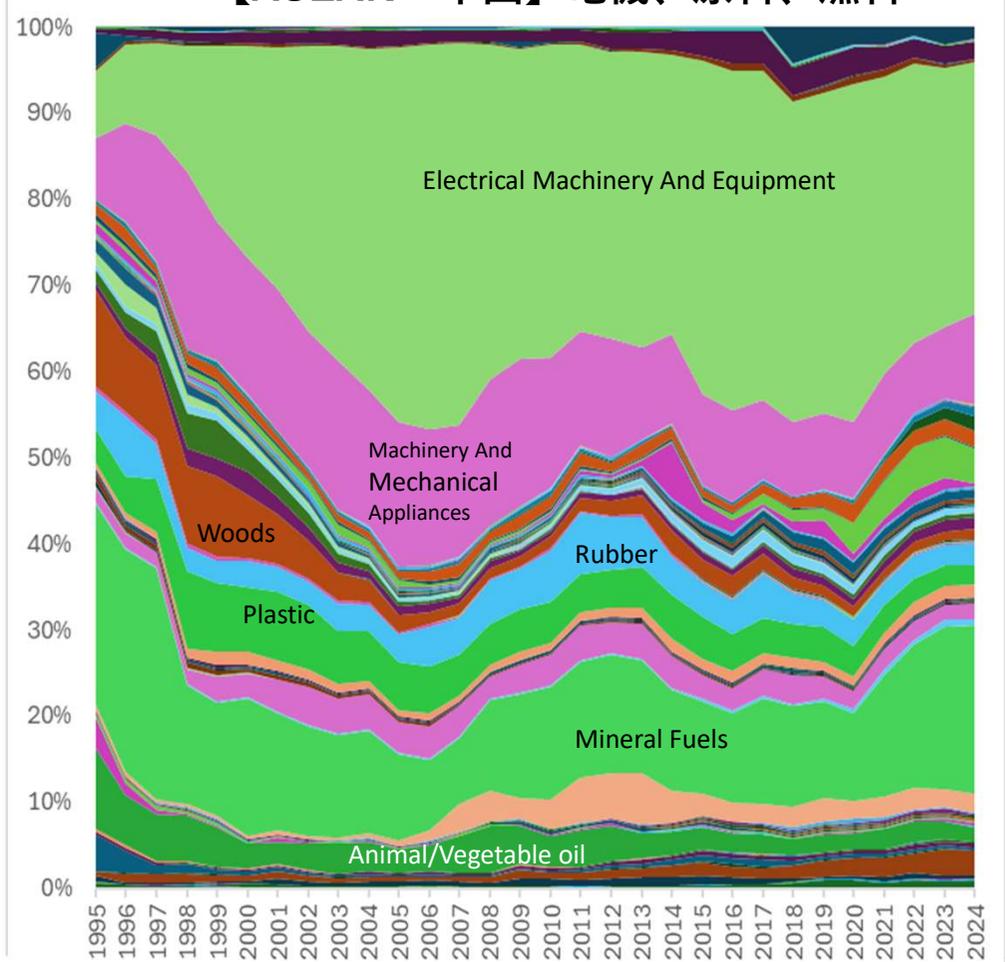
資料: OECD, TiVA 2025.

# 中国ASEAN貿易の商品構成(HS 2桁)

【中国→ASEAN】機械



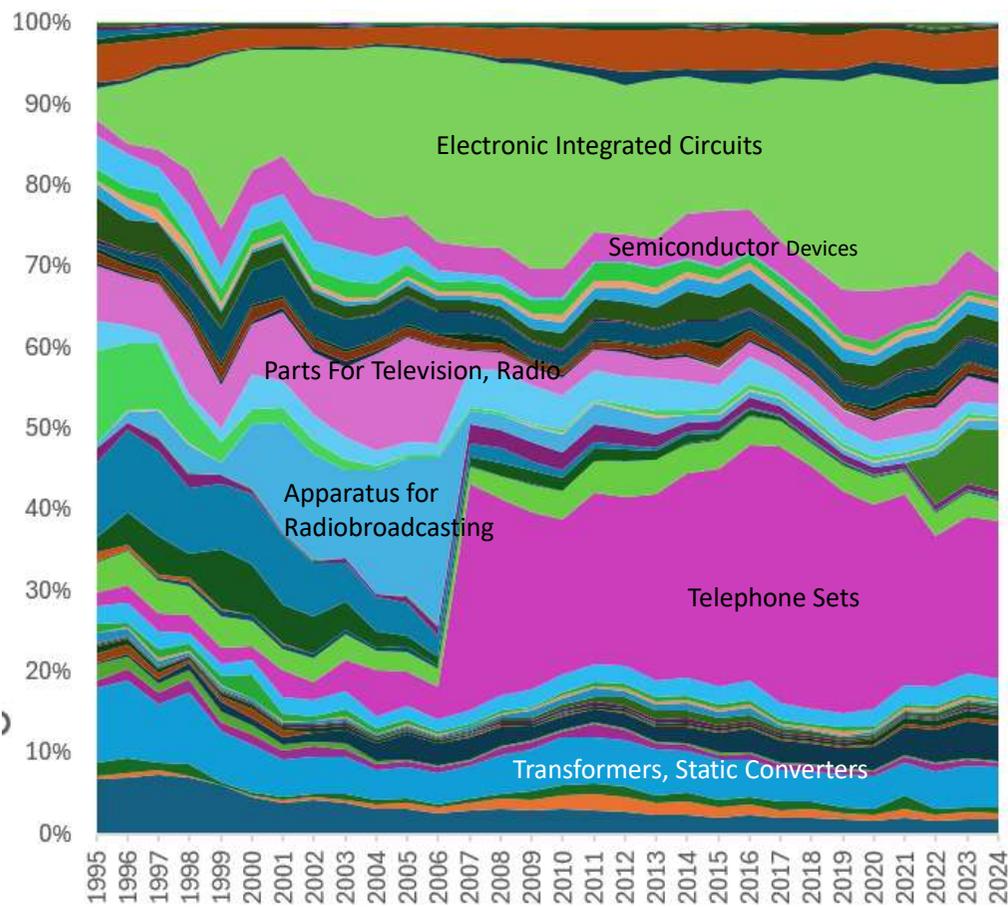
【ASEAN→中国】電機、原料、燃料



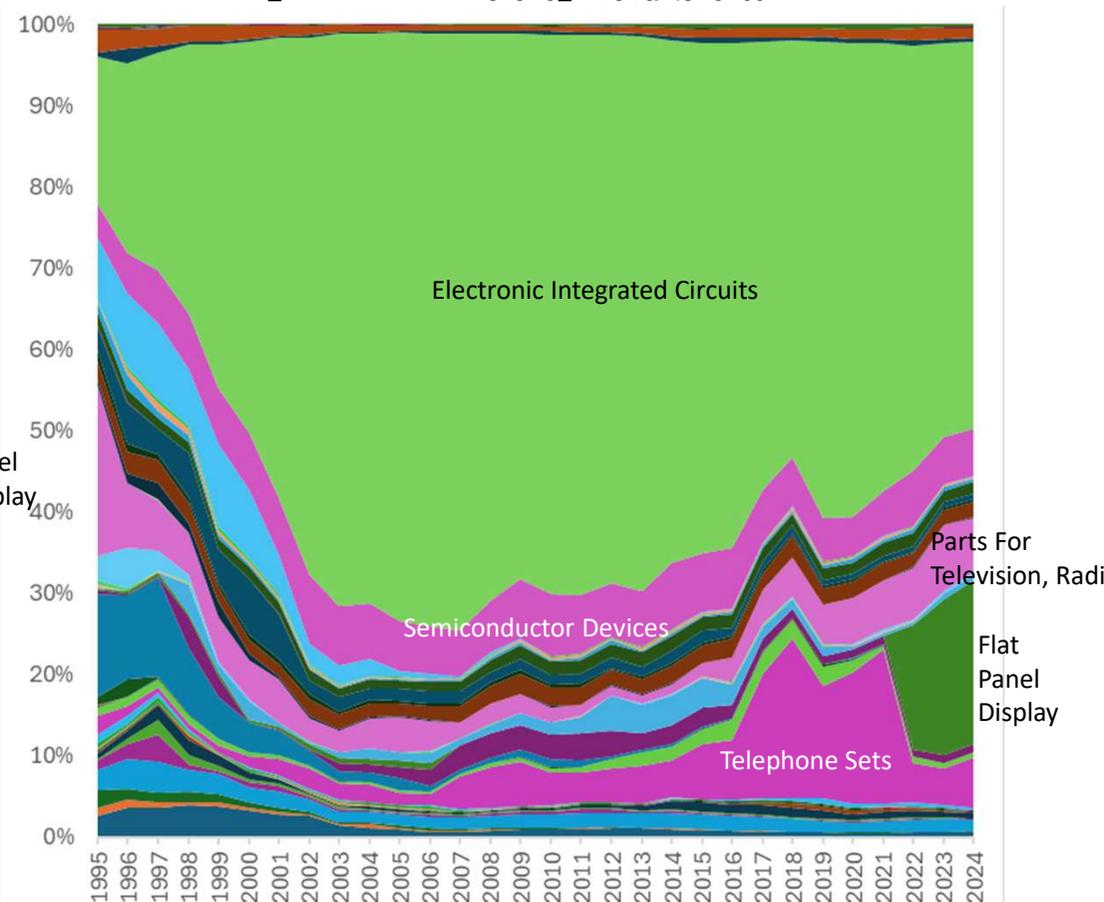
資料：World Trade Atlas.

# 中国ASEAN電気機械貿易の商品構成(HS85)

【中国→ASEAN】集積回路、スマートフォン



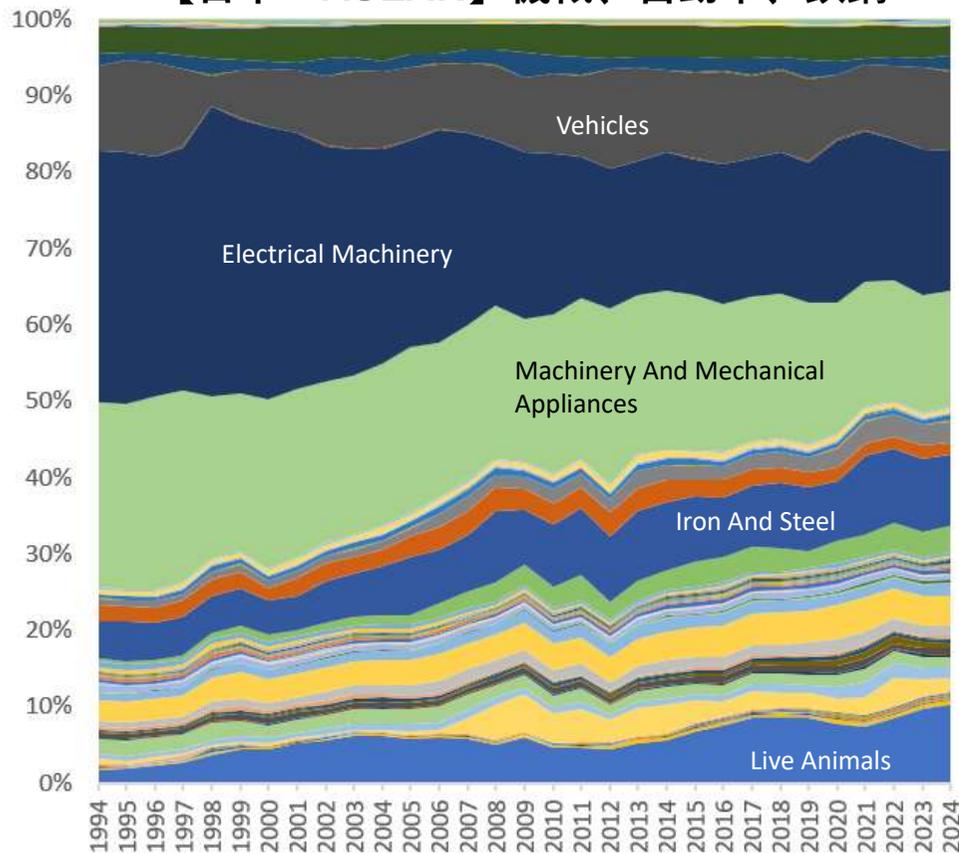
【ASEAN→中国】集積回路



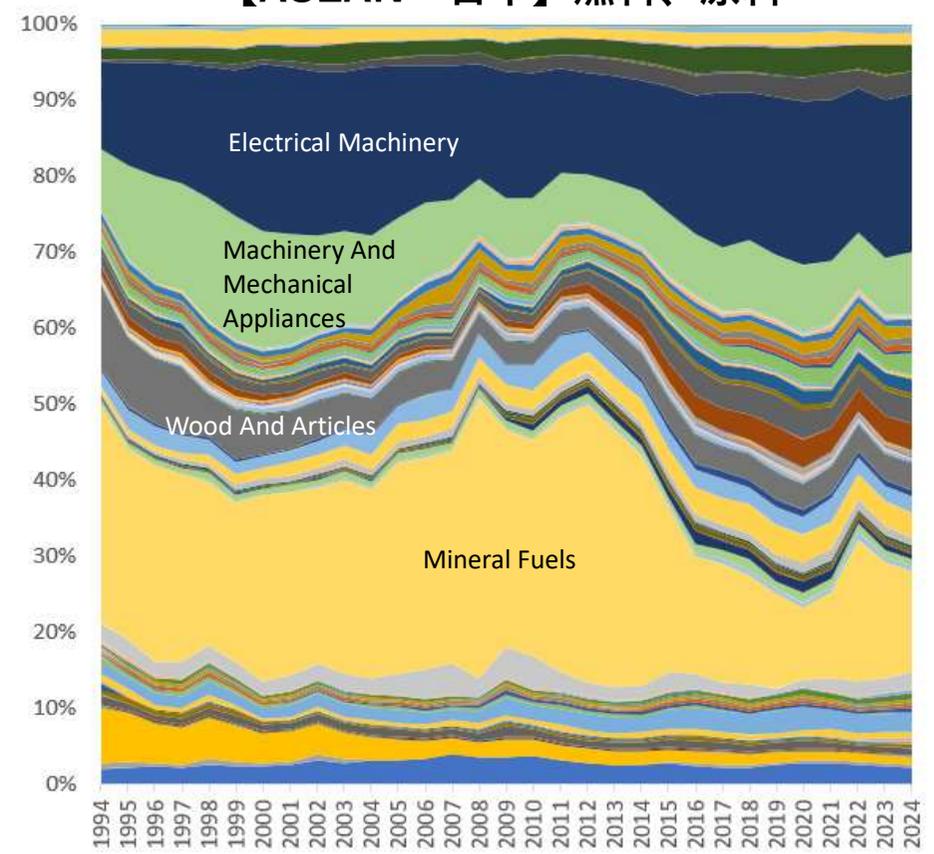
資料：World Trade Atlas.

# 【参考】 日本ASEAN貿易の商品構成(HS 2桁)

【日本→ASEAN】 機械、自動車、鉄鋼



【ASEAN→日本】 燃料、原料



資料 : World Trade Atlas.

# 中国ASEAN間の市場経済的ビジネス活動

- 中国労働集約型産業の生産拠点のASEANへの移転
- 中国の先進製造業・サービス産業のASEANへの進出
  - EV (充電ステーション)、バッテリー、太陽光パネル
  - 5Gシステム (Huaway)、スマートシティ、IIoT、スマート工場
  - Eコマース、デジタル決済、モビリティ、SNS、データセンター、クラウドサービス

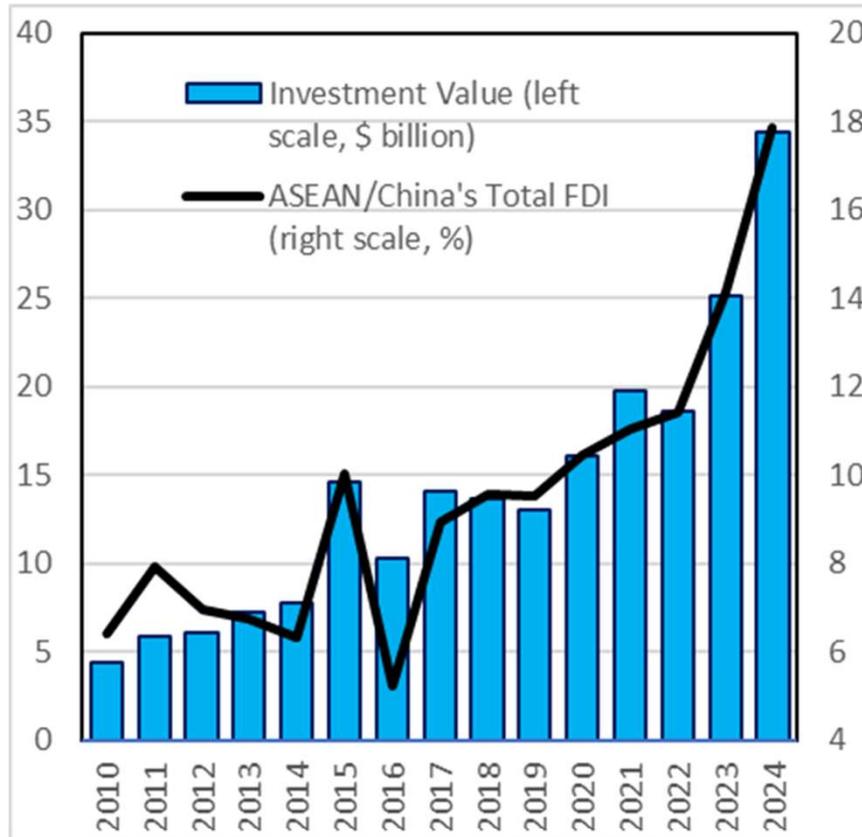
## ASEAN経済に占める中国の比重 (%)

	2010	2024
輸出	10.7	14.9
輸入	12.9	25.4
直接投資	5.6	8.7
訪問客	7.3	16.1

資料: ASEAN Stat Data Portal.

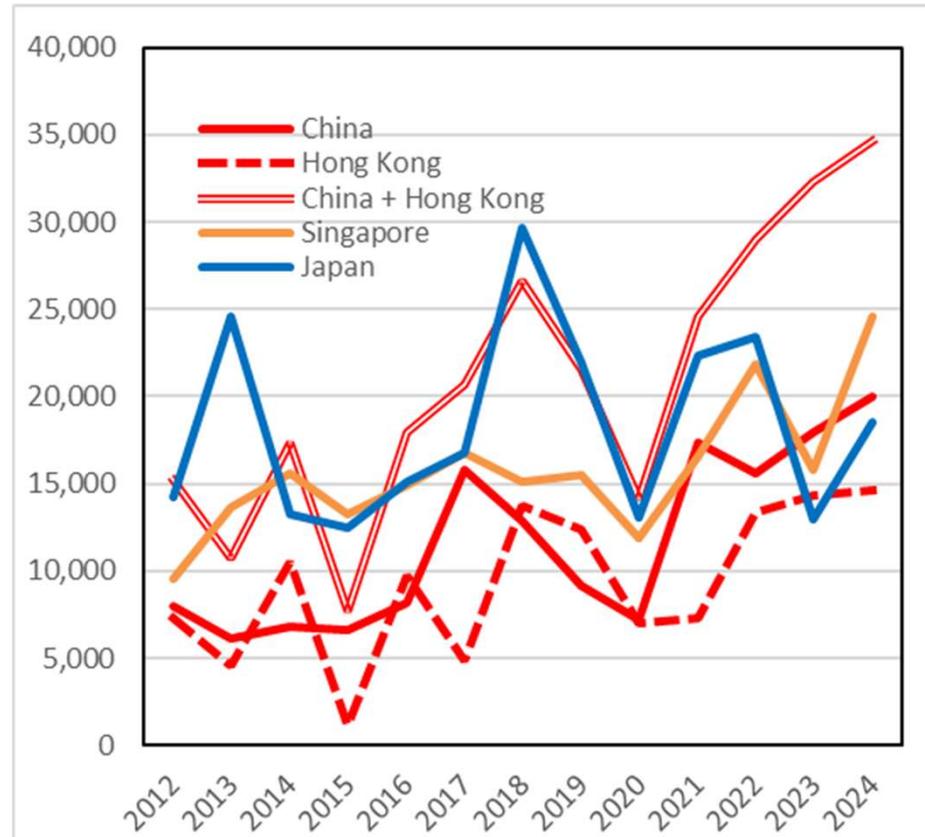
# 中国：ASEANの主要投資国に

## 中国のASEAN投資



資料: Statistical Bulletin of China's Outward Foreign Direct Investment.

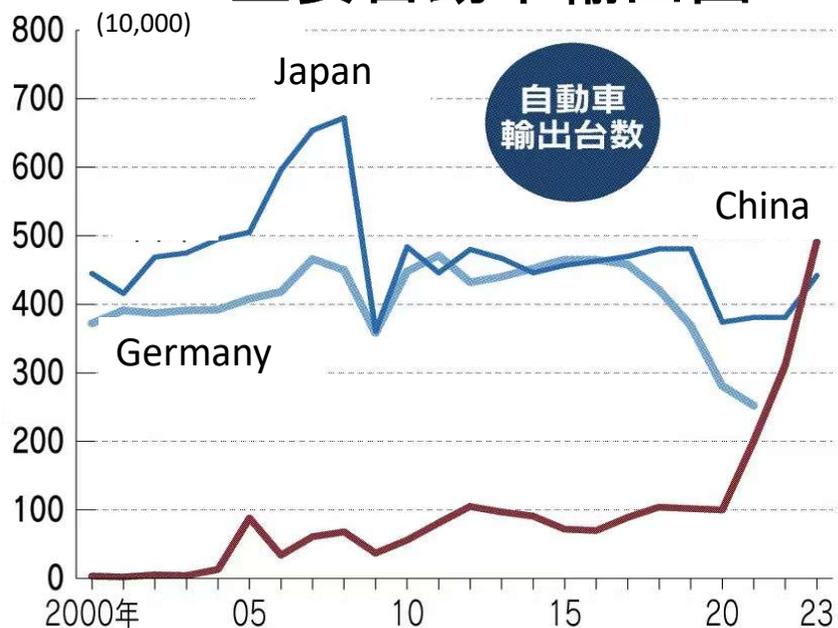
## 中国・日本のASEAN投資



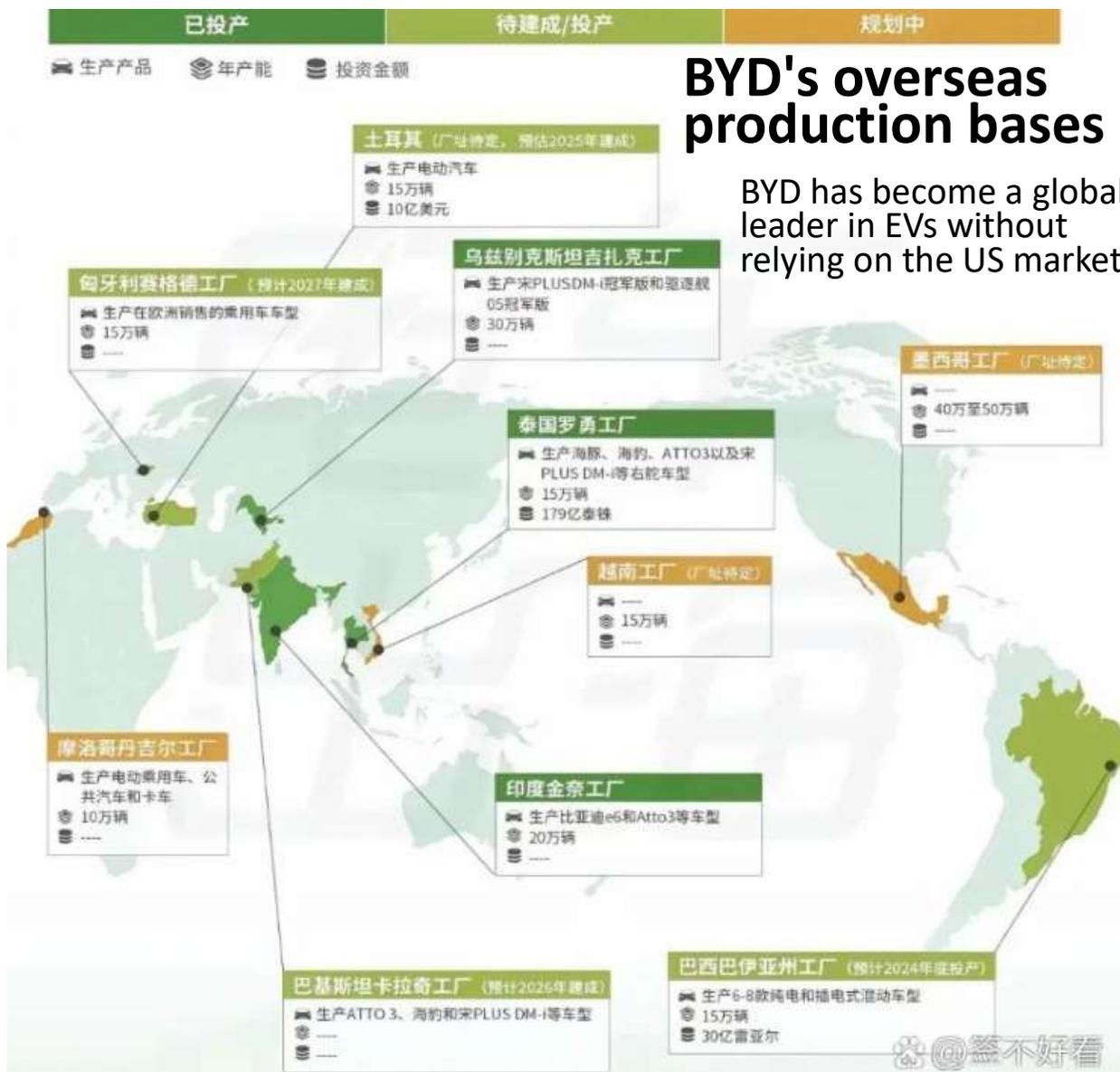
資料: ASEAN Stat Data Portal.

# 中国 = 世界最大 自動車製造国・ 輸出国

## 主要自動車輸出国



資料：『日本經濟新聞』2024年2月1日。



資料: 百度「比亞迪海外工厂分布国外」2025年1月13日。

# 中国車のASEAN進出

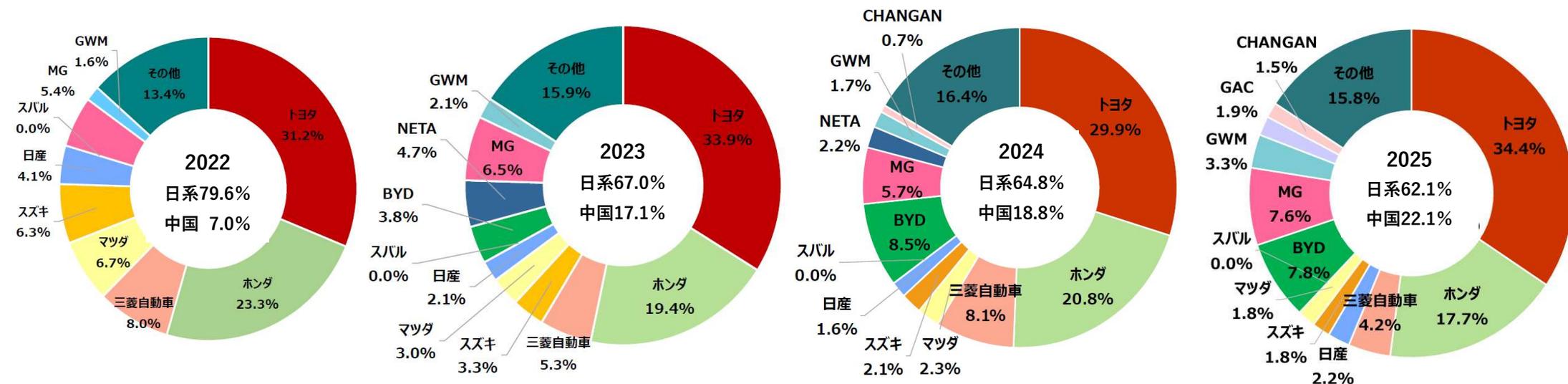
タイEV振興策 EV3.0(2022-25)  
EV3.5(2024-27)

## タイの自動車市場（2025）

（単位：台、%）

項目	2025年1月～12月	
	台数	前年比
生産	1,455,569	△ 0.9
うち国内販売向け	499,339	8.6
うち輸出向け	956,230	△ 5.2
国内販売	621,166	8.5
輸出	935,750	△ 8.2

## タイ乗用車市場における日本車シェアの縮小



資料：ジェトロ「ビジネス短信」2024年4月3日、2025年4月8日、2026年2月5日。

# 中国フラットパネル ディスプレイ産業のASEAN進出

- ベトナム：海外生産の中核拠点
  - Samsung・LGなど既存のディスプレイ産業の集積
  - 中国系企業のモジュール組立工場の進出
  - スマホ向け中小型パネルの後工程も増加
- タイ：車載ディスプレイの拠点
  - EV産業の集積（BYDなど）
  - 車載ディスプレイ需要に向けて中国企業の投資増加
- マレーシア：高付加価値工程・EMS集積
  - 電子産業のインフラ良好
  - 産業用・医療用機器
- インドネシア：家電市場の拡大
  - TV・家電向けの需要大
  - モジュール組立が増加傾向

## 主要中国メーカーの動向

企業名	事業内容
BOE (京東方)	モジュール組立、TV向け後工程、 車載向け供給
TCL CSOT (華星光電)	TV向けパネルの後工程、家電 メーカーとの連携
Visionox (維信諾)	スマホ向けOLEDモジュール組 立
HKC	TV向けモジュール生産

資料：各種報道。

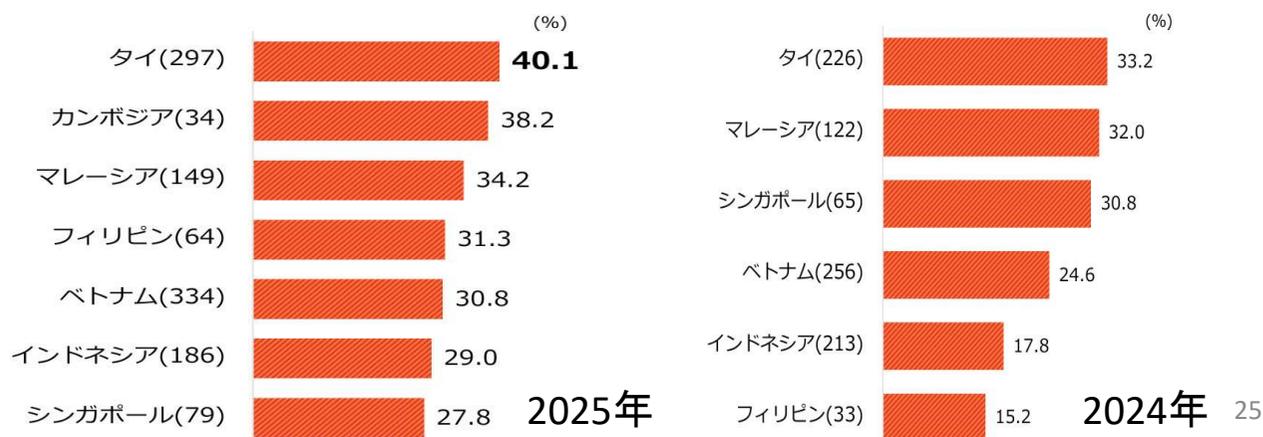
- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| ➤ 前工程(ガラス基板・蒸着・配線) 中国国内に残留 | → 高度な設備投資が不可欠        |
| ➤ 後工程(モジュール組立・検査) ASEANに移転 | → 低賃金労働コスト、輸出拠点      |
| ➤ 現地家電メーカー・スマホメーカーとの連携     | → ASEAN市場向けローカル生産の増加 |

# ASEANにおける日系企業の競争相手としての中国企業

	中国企業	地場企業	日系企業	欧州企業	インド企業	米国企業	台湾企業	韓国企業
総数(4,438)	31.2	21.4	20.9	4.2	3.9	3.2	2.9	2.8
ASEAN(2,728)	25.5	29.6	23.7	3.7	0.4	2.7	1.4	2.6
ベトナム(737)	19.9	29.7	24.4	3.3	0.0	1.8	2.8	6.2
タイ(585)	30.8	28.0	29.9	1.7	1.0	1.2	0.3	0.7
シンガポール(391)	24.6	26.9	20.5	7.2	0.3	7.4	1.0	1.3
インドネシア(333)	25.8	34.8	26.4	4.8	0.3	0.9	0.6	0.6
マレーシア(323)	27.9	37.5	15.5	4.6	0.6	3.1	1.2	0.9
フィリピン(147)	21.8	22.4	23.8	2.7	0.0	8.2	3.4	3.4
カンボジア(114)	28.9	25.4	19.3	4.4	0.0	0.0	0.9	2.6
ミャンマー(62)	19.4	21.0	27.4	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6
ラオス(36)	55.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8

## 最も強い競争相手として中国企業を挙げた割合 (ASEAN/製造業)

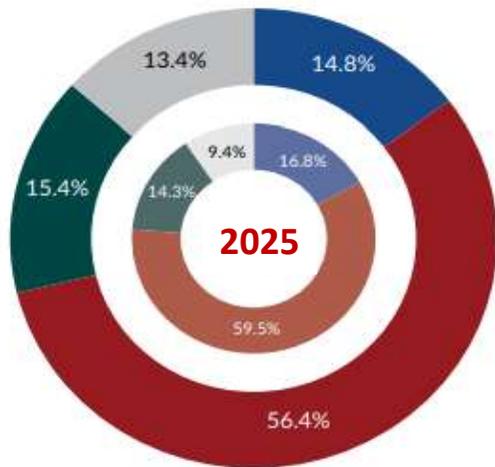
資料: ジェトロ「2025年度 海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)」  
2025年11月。



# 中国 = 経済力、日本 = 信頼性への評価

## ASEANのオピニオンリーダー調査

### Most Influential Economic Power

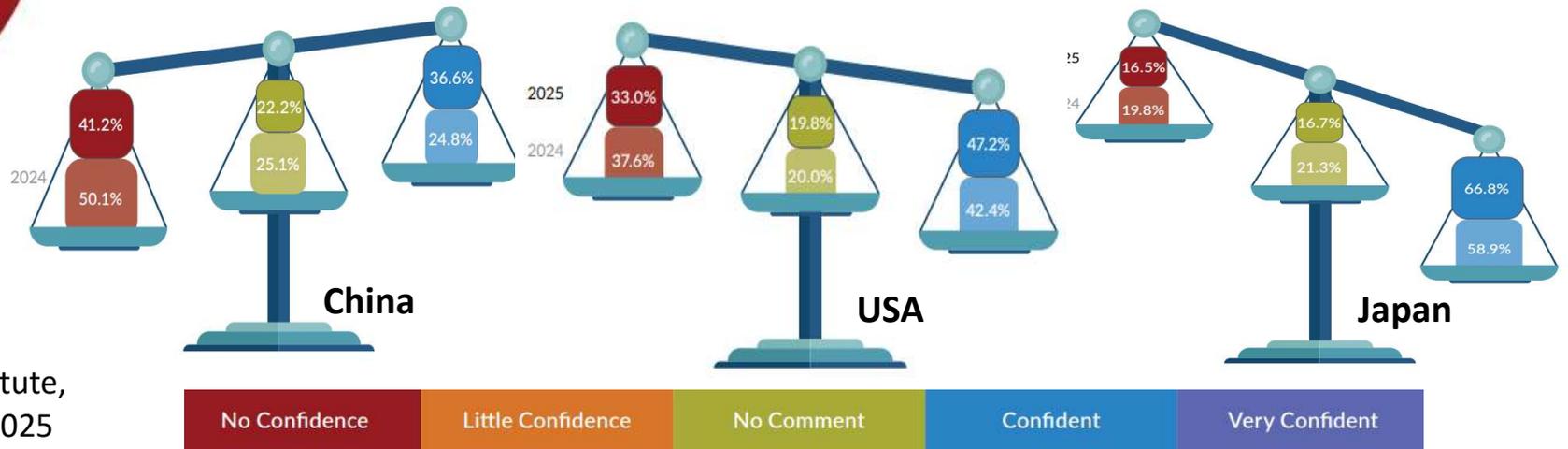


ASEANにおける中国企業の攻勢 → 日本の存在感の低下？

ただし、ストックベースの投資額 → 日本 = 最大の投資国

日本企業の現地化 → ASEAN貿易・投資統計における日本の地位低下

### Perceptions of Trust



資料: ISEAS - Yusof Ishak Institute, The State of Southeast Asia 2025 Survey Report

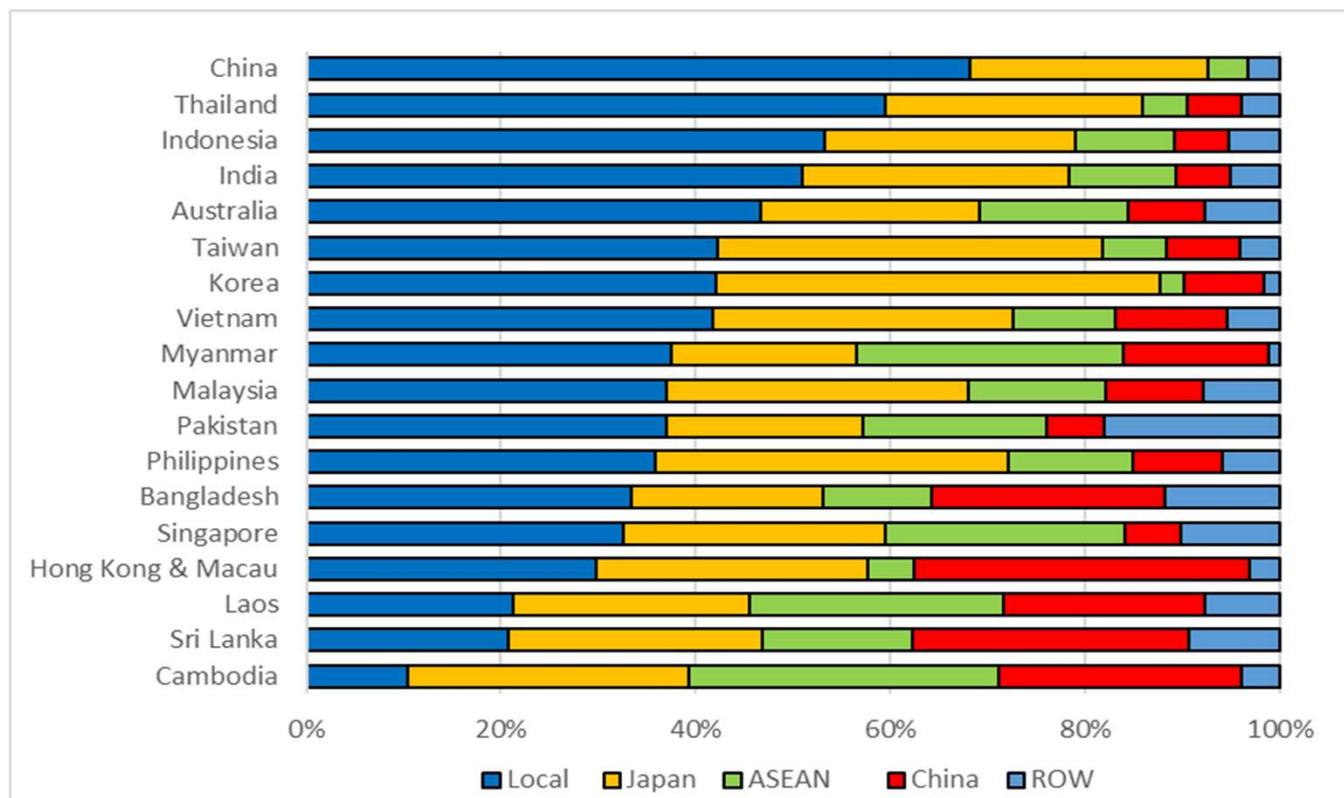
# 日本産業・企業の挑戦(1)

- 中国市場の変化への対応
  - 日本企業の中国拠点の位置づけ ≠ 輸出生産拠点
    - ⇒ 輸出産業の中国撤退
  - 日本企業の中国拠点の位置づけ = 中国市場向け製造・販売拠点
    - ⇒ 中国産業の「ボトルネック」分野への参入：半導体材料・製造装置
    - ⇒ 中国大手企業に対するサプライヤー：ガスタービン、カメラモジュール、温度制御
    - ⇒ 世界的特殊材料のサプライヤー：高性能エンジニアリングプラスチック、フォトレジスト
  - コスト増加は不可避だが、中国市場に特化したサプライチェーンを構築中
    - ⇒ トヨタ・BYD合併
    - ⇒ 真の技術力を証明し、価格圧力を受け入れ、技術流出のリスクにも対応

# 日本産業・企業の挑戦(2)

## アジアの日系企業の部材調達先

- 日本企業のアジア拠点
  - ⇒ 中国(日系中国拠点を含む) から部材を調達
  - ⇒ 新興市場の日系企業  
カンボジア、ラオス、  
スリランカ、バングラ  
デシュ
- 中国の位置づけ
  - ⇒ 最終財供給国から  
資本・中間財供給国へ



資料: ジェトロ「2025年度 海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)」 2025年11月。

# 日本産業・企業の挑戦(3)

- ASEAN進出日本企業によるASEAN進出中国企業(新規顧客)に対する積極的マーケティング活動の展開
  - ⇒フラットパネル関連製造装置・材料、半導体製造装置、OLED材料（発光・封止材）、高耐久ガラス・偏光板・光学フィルム
  - ⇒中国車メーカーのASEAN進出=Tier 1のみ→Tier 2不在
  - ⇒トヨタ(タイ)：中国企業が製造した部品の調達を本格化
- 日本企業(特にASEAN拠点)の関心は南アジア・インド市場へ
  - ⇒多国籍企業の生産拠点移転(Appleのインド展開など)
- 日本の製造業は最終財の競争力を喪失
  - ⇒B2CビジネスからB2Bビジネスへと事業の重点を移行
- 非製造業・サービス分野におけるビジネスチャンスの模索
  - ⇒コンテンツ産業の市場規模(≒石油化学、>半導体)、海外売上高(>鉄鋼 or 半導体)→将来的に中国との競争



京城  
LOOK IS COMING  
新升级



ご清聴ありがとうございました！

- Hideo Ohashi
- Professor of Development Economics (East Asia)
- School of Economics, Senshu University
- ohashi@isc.senshu-u.ac.jp